

■三井高福 豪商、実業家。幕末・維新时期に、三野村利左衛門登用して危機を克服し、財閥(三井)の基礎を固めた。
みついたかよし
7㇏㇏号事件 1808＝ 京都で、御用商人三井高就の子に生まれる。

杉田玄白没・1817＝9歳：
水野忠成老中1818＝10歳：

幼時から江戸、上方を中心に御用商人三井の家業呉服、両替等全般にわたり修業をつむ。

・ ・ ・ ・ ・ 1826＝18歳：

滑稽+人情本 1835＝27歳：

大塩平八郎乱1837＝29歳：家督相続し、三井家全体を代表する八郎右衛門を襲名したが、大塩平八郎の乱で幕末の動揺が始まり、
家祖三井高利と同様の子でくさんで、夭折も含めて高利とまったく同じ十男五女をもうけている。

天保改革終・1844＝36歳：
阿部正弘首座1845＝37歳：

ペリー来航・1853＝45歳：ペリー来航後の外国人の登場も景気を悪化させるばかりで、
貸金の焦付きや呉服商売の行詰り、

安政の大獄・1859＝51歳：治安や防衛の資金不足に悩む幕府からの過重な御用金賦課などで、経営が極度に悪化して行くなか、
桜田門外変・1860＝52歳：

生麦事件・ ・ 1862＝54歳：幕末の激動のなかで御用金などで極度に悪化するなか、

薩長同盟・ ・ 1866＝58歳：この年、薩摩藩士西郷隆盛と小松帯刀が本家に来訪、以後、岩倉具視はじめ、後に政府要人となる多くの志士が本家に出入り。*三野村利左衛門を御用所大番頭にする決断を下して、困難を克服し、

明治維新・ ・ 1868＝60歳：天皇が東京に遷るに当たって、新政府から5万両の醸出を求められ、息子高朗が金穀出納取締として随行。新政府が財政制度を整備するにあたって、自ら統率のもと、三野村主導によるめざましい働きに、三井四家は褒賞の上、250年前に放棄していた帯刀の特権も許され、*小野、島田らとともに新政府金穀出納所為替御用達を命じられる。以後、会計局御為換方や外国人貿易商社取締総頭取、通商司為替会社口御貸付方総頭取、開墾会社総頭取、開拓御用掛総頭取等に就任、とくに井上馨と相互依存し、

廃藩置県・ ・ 1871＝63歳：威容を誇る三井組ハウスを建設。

学問のすすめ1872＝64歳：岩倉使節団に有望な青年5人を随行させるなどして、三井財閥の基盤を築き、

明治6年政変 1873＝65歳：

三つの反乱・1876＝68歳：*三井銀行、三井物産を発足させ、同時に家政の近代化にも努めるが、

西南戦争・ ・ 1877＝69歳：西南戦争でまたも過重な賦課金を求められ、三野村も死去、新興の三菱との競争が激化するなか、

大久保暗殺・1878＝70歳：*長男高朗に家督八郎右衛門名(第14代)を譲って、

・ ・ ・ ・ ・ 1880＝72歳：
明治14年政変1881＝73歳：

内閣発足・ ・ 1885＝77歳：没した。